

# 磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷 福島縣石城郡平町新屋町十四  
印刷所 磐城時報印刷所  
發行 福島縣石城郡平町新屋町十四  
電話 一〇五五  
廣告料 一行十文字五円五錢  
△日刊（日曜、祭日）休刊

## 平水道擴張の 具体案完成

### 工費二十五萬圓、二ヶ年事業

平町の上水道擴張計劃は既報の炭礦の請願調査の状況を調査し如く炭礦博士の指導調査の下に午後小名濱町警察署派出所に至町囃子山技手の手に於て設計り同町に一泊の豫定である。十日漸やく完成目下設計に伴ふ八日には植田警察署を視察して工費豫算の編成中だが大體工費二十五萬圓、昭和四年度、五年度の二ヶ年繼續事業として財源は現在上水道の剩餘金一ヶ年五萬圓を充當し残り二十五萬圓を起債による低利資金を以て補充する方針であるが、同設計の内容は

配水用タンクを現在の個所より十八尺高所に置き直徑十八尺深さ六尺鐵筋コンクリートのものをしてタンクだけで二萬五千人に對する配水能力を有するもので更に水源地に沈澱所一個所、濾過所二ヶ所を増設一部分の鐵管を取り換へる豫定

でこの増設によれば將來高地の上下水需要者五千五百八人に對する配給力がある譯である。

## 警務課長 石城視察

新任警務課長森本勝巳氏は濱通り巡視のため相馬、双葉各郡を経て十六日夜四倉町に一泊、十七日朝平町に來り平警察署、平土木監督所を視察し石城郡内各

## 町村の預金について

磐城銀行は町村役場の公金と町村役場の公金と産業組合の預金については他の一般預金より以上にたかくのうはさが傳へられて居るが産業組合聯合會では組合の決議をもつて今後五ヶ年間預金を据置から一刻も早く整理して開店された町村長會でも同様の意見を申出てるので銀行もこの同情ある處置に報る様に努力して居る次第です

## 石城秋繭の價格を 毎日ラヂオで放送

### 二十七日四倉市場開所 相場は五十五掛位か

石城地方の秋繭は来る二十五日頃から出廻りを豫想され最盛期は九月初旬らしいが、石城販賣利用組合では出廻りに先だち尾形主事、千葉書記等が郡内各市場に出張し同組合經營の四倉市場利用方法について宣傳を行つてゐる、四倉市場は来る二十七日から開場する筈で春繭の時と同様に相場を仙臺放送局から毎日放送する事になつた、尙ほ秋繭價格について左の如く語つてゐた。

秋繭の相場は將して如何程であらうか、春繭の取引相場か

## 植田、小名濱間の 道路開設を陳情

### 道路開設を陳情

石城郡植田町有志總代から過般岨なる斷崖絶壁を各所に有し道出納検査に來植した縣參事會會員路の曲折等も高角の場所あり頗る具陳した同町岩間より小濱及難工事にて少からぬ工費を要するの三年間位の繼續事業に於ては沿ふた道路の改修工事企圖に就いては現状の踏査を行つた結果一行の大半はこれを了して最大の努力を拂ふ事となつた模様であるが、いよ／＼該問題の實現を見るにこの總の發展を促進させる原動力となるのでその實現の速かならん事を切望してをり近く出縣陳情をなす筈である。

## 白銀体育選手

### 平町 白銀青年團の郡下体育大會出場選手豫選の結果左の如し。

▲一萬米 一等佐藤益三、二等小松良平、三等佐川幸一、▲幅跳花澤輝一、▲角力高木喬、▲砲丸投花澤輝一

## 山林事故防止のため 傳書鳩を使用

### 平營林署の計劃

平營林署では山林事故防止と事の出張所に分配し急用の際には故を出来るだけ少なからしむる之を放ち山林電話と相俟つて非目的で、軍用鳩調査委員會から常通信の完全を期する事になつた傳書鳩二十羽の分譲をうけ之をた。營林署で傳書鳩を使用して訓練中であつたが、充分なる訓めるのは本縣では平營林署のみ練が出来たので同署管内十ヶ所での結果が刮目されてゐる。

## 村を追はる

### 外山生

（その十八）  
以上私は、村の文化、村の宗教、村の道徳、村の産業、村の政治、村の教育、村の指導と云ふ具合に、有機的村の現在を在生地の姿そのまゝ、何の修飾なく語つて見た、素より何れへ行つても一面識に初めて會つた村の姿は、見合の時の娘の様に美しく見えるものであるが、村の家族の一員として生活して日常何かと交渉をもつて見ると「彩花丹雲十里紅白を抹し抑紫煙る處、遠く

## 九月から開設

### 將棋クラブ

平町に於ける將棋愛好者は相集り今回平町十五丁目ス、ラン撞球場の二階大廣間を借りうけ平將棋俱樂部を開設する事になつた。會長は井上茂作氏で副會長は目下平署において取調中。

## 販賣利用組合

### 經營事務懇談

石城郡販賣利用組合では尾形主事、千葉書記等が左記日割により事業經營懇談會を開く。

十四日夏井、十五日神谷、十六日大野、十七日久之濱、十八日大久、十九日草野

## 亂暴な男

### 平署に捕はる

石城郡内村大字泉字柴平居住宮本幸川崎金造（五二）は十一日午後九時頃泥酔の上附近に在る知り合ひの山崎春吉（四〇）方に至り戸締りがしてあるのに憤慨し同家の壁一間四方を打ち破つて屋内に闖入し薪様の獲物を揮つて春吉の前頭部を毆つて訴へられ目下平署において取調中。

は馬目雄次郎氏、會員目下の處二十余名である、會費は一ヶ月一圓、入會希望者は左記に申込まれたい。

▲本社▲井上茂作方▲ス、ラン撞球場▲平町元那衛内木炭同業組合

販賣利用組合  
經營事務懇談

石城郡販賣利用組合では尾形主事、千葉書記等が左記日割により事業經營懇談會を開く。

十四日夏井、十五日神谷、十六日大野、十七日久之濱、十八日大久、十九日草野

亂暴な男  
平署に捕はる

石城郡内村大字泉字柴平居住宮本幸川崎金造（五二）は十一日午後九時頃泥酔の上附近に在る知り合ひの山崎春吉（四〇）方に至り戸締りがしてあるのに憤慨し同家の壁一間四方を打ち破つて屋内に闖入し薪様の獲物を揮つて春吉の前頭部を毆つて訴へられ目下平署において取調中。

村を追はる  
外山生

（その十八）  
以上私は、村の文化、村の宗教、村の道徳、村の産業、村の政治、村の教育、村の指導と云ふ具合に、有機的村の現在を在生地の姿そのまゝ、何の修飾なく語つて見た、素より何れへ行つても一面識に初めて會つた村の姿は、見合の時の娘の様に美しく見えるものであるが、村の家族の一員として生活して日常何かと交渉をもつて見ると「彩花丹雲十里紅白を抹し抑紫煙る處、遠く

九月から開設  
將棋クラブ

平町に於ける將棋愛好者は相集り今回平町十五丁目ス、ラン撞球場の二階大廣間を借りうけ平將棋俱樂部を開設する事になつた。會長は井上茂作氏で副會長は目下平署において取調中。

販賣利用組合  
經營事務懇談

石城郡販賣利用組合では尾形主事、千葉書記等が左記日割により事業經營懇談會を開く。

十四日夏井、十五日神谷、十六日大野、十七日久之濱、十八日大久、十九日草野

亂暴な男  
平署に捕はる

石城郡内村大字泉字柴平居住宮本幸川崎金造（五二）は十一日午後九時頃泥酔の上附近に在る知り合ひの山崎春吉（四〇）方に至り戸締りがしてあるのに憤慨し同家の壁一間四方を打ち破つて屋内に闖入し薪様の獲物を揮つて春吉の前頭部を毆つて訴へられ目下平署において取調中。

